

楽しい気持ちで活動のエネルギーに！

ひとつのおはなしをつくるのにストーリーを考えたり、イラストを描いたりする作業で数ヶ月かかることもあるそうです。大変な作業にもかかわらず、「子どもたちの喜ぶ顔が見たい！」という気持ちがおふたりのエネルギーとなつて、また新しい作品を生み出していくのだと感じました。



鈴木さん「はるくまは子どもたちの心になねをまいていきたいという想いで活動しています。もしかしたら、その子の中でいつか大きな木になったり、花が咲いたり、実がなつたりしてくれたりいいな...という願いを込めています。」

子どもたちはおはなしを聞いたり、描かれた絵を見たりすることで、それぞれに想像力を広げながらおはなしの世界を楽しんでいます。おはなしや歌を通して、豊かな

心や感受性を育むきっかけを与えることができたという想いが『はるくま*おはなしのたね』という名前にも込められています。

現在はお住まいの松阪市を中心とした子育てイベントや保育・幼稚園で活動をしています。これまでに四日市市や志摩市にまで出かけたこともありました。

おふたりには各地の保育・幼稚園へ行ってみたいという想いもある一方で、

普段はお仕事をしているので、現状では月3回までの活動が精一杯だそうです。何よりもおふたり自身が楽しく活動が続けていけるように、今後も無理をせず自分たちのペースで頑張っていけたらいいと話してくれました。

おはなしをきっかけに...

環境学習というと、幼児にとつては難しいと思われがちです。しかし、子どもたちをおはなしの中に引き込む力を持っている絵本や紙芝居などは、楽しく学ぶ手段としてとても有効です。

子どもたちはおはなしの中に入り込み、主人公と一緒に、時には自分が主人公になって、問題解決や、自然のおもしろさ・不思議さなどを疑似体験することができるよう。環境や自然のおはなしを聞いたり、読んだりすることで、やがて環境をよくするために自分にできることを考えたり、身近な自然に興味を持つて生き物と触れ合ったり、自然の営みをもっと知ろうとしたりするの

ではないでしょうか。このようにして子どもたちの中で自然や命を大切にすることが育まれていきます。

こうした絵本などを通した環境学習は、家庭でも簡単に実践することが出来ます。書店や図書館の児童図書コーナーをのぞいてみるとたくさんの絵本が並んでいます。子どもの成長に応じたおはなしを選ぶことで、楽しく学びを深めていくことができると思います。

最後に来春、はるくんとかまくまを講師に迎えて、こども環境講座『ミニ絵本づくり』を開催します。おはなしの読み聞かせもあります。どうぞお申込みください。

主催 三重県環境学習情報センター
公益財団法人 三重こどもわかもの育成財団 三重県立みえこどもの城

こども環境講座

はるくまさんと
ミニ絵本をつくろう！
—楽しいおはなしもあるよ—

参加費
無料

牛乳パックを使ったオリジナルの絵本をつくろう！
おはなしや絵を自分で描きます。
はるくまさんと絵本をつくるおもしろさや、楽しさを味わってください。

平成27年

日時 3月29日(日) 13:00~15:00

会場 三重県立みえこどもの城
(松阪市立野町1291 中部台運動公園内)

講師 はるくま*おはなしのたね
菅原 潤子 氏・鈴木 晴美 氏

対象 小学生以上

締切 2月28日(土)

募集人数 15人 (保護者とあわせて30人程度/※幼児同伴可)
※申込多数の場合は抽選。その際、三重県在住の方を優先します。



詳しくは、チラシまたはホームページをご覧ください